

ミヒヤエル・ツアルカ&丹野めぐみ

「レクチャー&公開ピアノレッスン」 ～バロック・古典派・ロマン派の鍵盤音楽を 現代のピアノで演奏するために～

バッハもモーツァルトもショパンも、彼らの生きた当時は今のようなピアノは存在しませんでした。各時代の演奏法をふまえながら、現代のピアノでどのように演奏したら良いのか・・・。チェンバロ、フォルテピアノの演奏でも国際的に活躍し、モダンピアノ（現代のピアノ）も弾きこなす二人のピアニストが、バロック・古典派・ロマン派の鍵盤音楽を現代のピアノで魅力的に演奏するポイントをレッスンします。ソロでも連弾でも受講可能です。

4月2日(土) 11:00-16:50 予定 (6レッスンを予定)

ナール・ホームサロン (甲府市城東4-7-17, TEL:055-288-9177)

1レッスン約50分 (ご希望時間がありましたらご相談ください)

11:00-レッスン1 11:50-レッスン2 12:40-休憩 13:30-レッスン3 14:20-レッスン4
15:10-レッスン5 16:00-レッスン6

受講料 (全レッスンの聴講が可能です) : 12,000円

聴講料 (全レッスン分) : 1,500円 (ご予約・事前購入) 2,000円 (当日飛び入り) 途中入退室可能

※聴講の方も事前にご予約・お問い合わせいただければ受講曲とタイムスケジュールをお伝えします

ミヒヤエル・ツアルカ, ピアノ Michael Tsalka, Piano

国際的に活躍中のミヒヤエル・ツアルカはローマ、バイロイト、ボン、パリ、ジェノア、カラブリア、サルディーニャ、テルアビブ、シカゴ、ミネアポリス、ベルリン、メキシコシティ、クオビオ、フィラデルフィアにて数々の受賞歴を誇る。テンブル大学にて博士号取得後、2014年までストックホルムのリラ音楽院教授として活躍した。バロック音楽から現代音楽まで幅広く手がけ、モダンピアノ、チェンバロ、フォルテピアノ、クラヴィコード、スクエア・ピアノ、室内オルガンを専門とする。またボストン古楽音楽祭、北京紫禁城ホール、サンクトペテルブルグのエルミタージュ美術館、ニューヨークのメトロポリタン美術館でのリサイタルは好評を博す。クラヴィコードにてバッハ「ゴールドベルグ変奏曲」を演奏するなど独創的なCD制作を続けており、ナクソスやパラディーノ・レーベルCDも国際的に高い評価を得ている。また後進の指導にも熱心で、世界中の音楽学校にて50回以上のマスタークラスを歴任。また彼の4つの学術論文もイタリアの「クラヴィコルディオ」やアメリカの「古楽ジャーナル」に掲載されている。



丹野めぐみ, ピアノ Megumi Tanno, Piano

オランダ・スイス・東京を拠点とし、国際的にフォルテピアノ奏者、ピアニストとしてソロ・室内楽の分野で幅広く活動している。2015年シーズンは、3月「バッハ・イン・サブウェイズ」東京公演に参加。5月ツアルカ博士と香港科技大学に招聘、また香港のクラシックラジオ局にて堀江はるよ氏のピアノ作品を録音、そしてフィンランドの「ノルディック古楽鍵盤祭」に招聘。9月にはイタリア・マニャーノにてクラヴィコード・シンポジウムにて演奏、10月にはオランダ・アムステルダムにてGeelvinckフォルテピアノ・フェスティバルにてマスタークラス講師として招かれる傍ら、ソロ・リサイタル、またツアルカ博士と多くの演奏会に出演。また渋谷タカギクラヴィアにて「煌めく音符たち」、汐留ベビシユタインサロンにて「香りのコンサート」、地元大田区での「丹野めぐみフォルテピアノ演奏会」、新宿近江楽堂にて「声の力」など、独創的な演奏会を開催し続けている。デン・ハーグ王立音楽院修士課程卒業後、数々のフォルテピアノコンクール(フォルテピアノ部門)入賞、2009年オランダ室内楽コンクール優勝。2011年よりウィーンとフランスにてサリー・サージェント氏に音楽美学、歴史的ピアノ奏法を師事。2014年より東京ピアノラボ主宰。

お問い合わせ・ご予約 : Naable Music Planning ナール音楽企画 055-288-9177
info@naable.com www.naable.com 〒400-0861 山梨県甲府市城東4-7-17